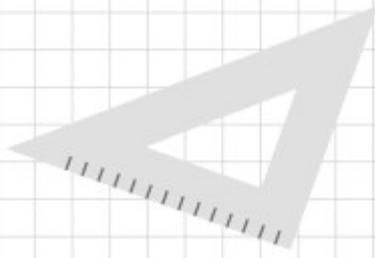
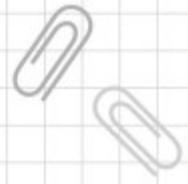
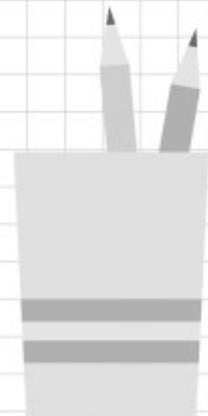
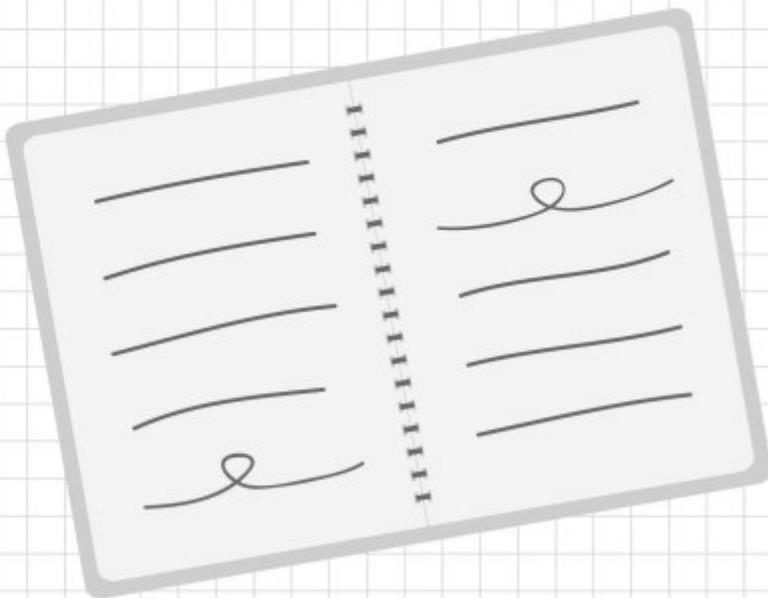


ふくしまNPO

経 営 者
ゼ ン 報 告





ふくしまNPO 経営者ゼミ報告

プロフィール

認定NPO法人 ふくしま30年プロジェクト

理事長

佐原 真紀



略歴

福島県福島市出身。高校卒業後15年間は東京で資生堂ビューティーコンサルタントとして勤務。福島に戻り、子育てをしながら自宅サロンをオープン。東京電力原子力発電所事故後の2011年10月に、市民による放射能測定所を開所し、立ち上げから携わる。2013年からNPO法人に。市民の放射能への不安に対応し福島の子どものサポート役、つなぎ役として活動。2018年から団体理事長に就任。

ゼミの結果報告



私がこのゼミに参加したかった理由は、2つあります。ひとつは震災、原発事故から年数が経つにつれて、弊団体の活動に対しての市民の関心が薄れていくことへの危機感。とはいえ、いまだに不安を抱えている方もいる現実。そのターゲットにどう共有し、コミットさせることができるのかという部分です。

もうひとつは、団体の理事長になってからまだ半年程度だったこともあり、NPOのリーダーとしての心構え、団体メンバーとの関わり方、他団体や組織との繋げ方、発信の仕方等、自分の力にまだまだ自信が無かった点です。

まず、【NPOリーダーのための15の力】というワークブックの表紙を見てときめきました。そこに書いてある「継続的で、安定的な、NPO運営のために」という言葉には、自分が必要としている全てはまさにそこ！という期待があり、このゼミに参加してその力をつけたいと意気込みはあったものの、そう甘くはありませんでした。読むだけで実践できるわけはなく、ひたすら理想だけを描いていっても、行動、実行につなが





りません。

継続的に活動をしていくためのビジョン(やりたいこと)とミッション(やるべきこと)は今までもスタッフ、理事メンバーからいくつも出ていました。ですが、その軸が安定していないせいで継続が難しくなったり、必要とする人に情報が届いていないという問題があります。

このゼミに参加しているメンバーは、活動内容には様々違いがありますが、毎回皆さんの体験や事例を聞いていく中で、共通している悩みの部分も多くありました。特に、どんなときに人は成長していくのかという部分が参考になりました。日々の忙しきでどんどん詰め込んでいっても、それは経験値しか上がらない。そんなときに立ち止まって、振り返ることで、成長できているというのは、みんなに共通する部分だったと思います。「フィードバックが大事」と言われますが、それは、企業、組織、経済、政治、全てのことにいえるのだということを改めて実感しました。そして、客観的に自分を見つめ、振り返ったあとで参考になったのは、お呼びした講師からの「方向性は変化してもいい」「世界観をしっかりとつ」というアドバイスです。

自分の中で、活動のイメージとしての世界観はあります。今後一緒に活動しているみんなから『世界観の収集』をし、想いの共有を心がけながら、次のアクションを考えていこうと思います。

一年間ともに考え、気持ちを言葉にしてくれたゼミ生と事務局の皆さん、そしてこのゼミを企画サポートしてくださった皆さまに感謝いたします。

ありがとうございました。



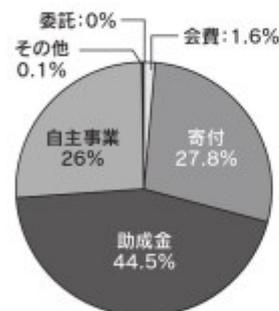
団体のプロフィール(2019年度)

団体名/認定NPO法人 ふくしま30年プロジェクト
 運営体制/役員:6名
 スタッフ:5名(常勤有給:2名、その他:3名)

収入総額/13,608,888円

収入内訳(100%)

委託	0%
会費	1.6%
寄付	27.8%
助成金	44.5%
自主事業	26%
その他	0.1%



プロフィール

こおりやま子ども若者ネット
代表
鈴木 綾



略歴

2002年～2015年 NPO法人ビーンズふくしま
フリースクールスタッフ・青年期支援・地域若者サポートステーションセンター長、同団体副理事長等を務める。
現在、若者協同実践全国フォーラム理事・NPO法人アスイク常務理事・こおりやま子ども若者ネット代表等

ゼミの結果報告

2019年ゼミで得た物は、他団体の経営者との出会いと、その方々との交流から生まれた視点だと感じています。

辺見さんからは、隣県山形で事業を展開する時の振舞い方や、その試行錯誤の実践を聞かせていただきました。自団体を地域を変える「余所者」としながらも、地域の方々の関係を紡ぐような心掛けなど団体を経営するだけでなく、団体外の人たちとの関係構築の視点は、大変学びになりました。

吉田さんからは、辺見さんのような展開先の地域活動ではなく、ご自身の住んでいるエリアを変えていく事をミッションにしている話を聞かせていただきました。ご自身も住民として、またその地域で事業をするNPOの経営者として、学校や地域と関わりながら活動の仕方は、地方都市の郡山では特に貴重な活動だと感じました。自身を振り返りテーマコミュニティを意識して活動しているので、この地縁の中で変化を生み出す試みは、新しい視点を頂きました。

松村さんからは、東日本大震災由来で生まれたNPOにおける第二創業期の課題や、その中での再組織化のチャレンジを聞かせていただきました。福島においては、震災後に組織されたNPOは少なくありません。松村さんたちの取り組みは、それらのNPOと協働の可能性を示すものだと感じました。

最後に佐原さんたちの取り組みですが、東京電力福島第一原子力発電所事故災害後の福島の課題に真正面からの取り組みですが、社会の関心が薄れている昨今、様々な苦労があるとの事を聞きました。その中でも活動を継続させるための

試行錯誤や意思は、とても感銘を受けました。

他、ゼミ生の実践を拝聴しつつ事務局のスタッフの方々からの投げかけや問いが、学びを深め、サポート頂いたこと感謝します。

私たちのネットワークは13団体3個人の方が加盟しています。様々、団体個人の方々なので、ゼミ生の一つ一つの取り組みや考え方をうかがえたことが、それらの団体の理解に繋がる視点を頂いたと感じています。1年間御世話になりました。



団体のプロフィール(2019年度)

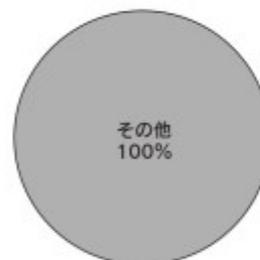
団体名/こおりやま子ども若者ネット

運営体制/役員:4名

事務局:3名 ※ネットワーク加盟団体から選出

収入総額/518,231円

収入内訳(100%)	委託	0%
	会費	0%
	寄付	0%
	自主事業	0%
	その他	100%



ふくしまNPO 経営者ゼミ報告

プロフィール

特定非営利活動法人 青空保育たけの子

代表理事

辺見 妙子



略歴

1960年福島県福島市生まれ。2002年福島コダアイ合唱団に所属、生涯の師と出会う。2006年映画『子どもの時間』を観て、刺激を受け、2008年国家試験で保育士資格を取得。2009年4月青空保育たけの子創立。2011年震災による原発事故の影響で福島での野外活動を断念し、同年10月から山形県米沢市に子どもたちを連れて毎日通い活動を続けている。2016年3月放送大学卒業。2018年幼稚園教諭免許取得。

ゼミの結果報告

わたしがこの経営者ゼミに参加した動機は、自分に足りない経営者としての資質を補い、成長したいと思つてのことでした。自分では感覚人間であり、理論的なことよりも感情的に物事を捉える方だと思つていたからです。以前、助成団体から「邊見さんの思いはわかるんだけどね」と言われたことがずっと心に掛かっています。「思いだけではだめなの?!」。今だから言えることですが、目的は明確でも、どうしたいと思つているのか、特に資金面での運営の計画性が明確でないと申請は通らないものだったのです。そんなこともわからないままの経営者としての出発でした。だから、ゼミの皆さんや講師の方々の話を聞いていて、時々カタカナが飛び交うと、こっそりスマホで検索したりしていました。



とにかく、自分の団体や個人的な成長をもくろんでの参加だったのです。でも、それが、皆さんと接していくうちに変わっていきました。ご自身のご家族のことから問題意識をもたれて団体を設立し、地域の中でその存在意義を深めようとしている吉田さん。若者支援のためにできることは何かといつも考え、ご自分では小さいころは勉強ができなかった

プロフィール

特定非営利活動法人 働くママを輝かせるプロジェクト
事務局長
松村 舞



略歴

約10年専業主婦をしていたが、震災をきっかけに自分の子育ての経験を活かせる子ども支援がある団体に入社。

ゼミの結果報告

まずは色々なことに参加してみようと思い経営者ゼミに参加させていただきました。初めてのことで何もわからずゼミ生の皆さんとお会いしました。ゼミ生の皆さんは私より先輩だったので最初はなかなか話ができませんでした。今回参加した皆さんには子ども支援が共通していると感じました。皆さん同じ気持ちでたくさんの子どもたちの為に活動している事が伝わって来ました。

私たちの団体は2018年に設立したのでまだまだ経営の事に意識がなかったのですが、たくさんの方を見学、話をし経営への意識が変わって行きました。巻き込み力、巻き込まれ力という事を学びました(地域の人たちを巻き込む、巻き込まれる)。他団体さんとの協力(一緒にイベントをする)。そして団体を維持していくには、団体スタッフとの共有などの考え方が変わって来ました。



スタッフとの話では、今後どのようにしていけばいいかというような話し合いが増えました。また、ゼミがあったからこそゼミ生、他団体さんとの繋がりができました。悩みやイベント依頼など相談できみんなで協力できる。ゼミ生とは年齢も住んでいる場所もみんな違うのでその場所の抱えている問題、地域によっての



違いに気づきました。

ゼミ参加後の帰り道は自分の団体の事をプラスに考えて帰る事が多かったと思います。頑張ろうという気持ちになりました。皆さんと直接話をするのは私にとって大切な時間でした。ゼミ生との約1年間の勉強は私にとって仲間を増やせた、相談できる人たちができたと感じます。

ゼミ最後の方は自分の意見、思いなどが話せるようになりました。経営者としての意識は少し大きくなりましたが、まだまだ足りない部分があるので勉強していきたいと思います。

ゼミが終わっても連絡を取り合ってみんなで何かできる事があると思います。たくさんの方達との繋がりができて挑戦する力が出来て来ました。



団体のプロフィール(2019年度)

団体名/特定非営利活動法人 働くママを輝かせるプロジェクト

運営体制/役員:4名

スタッフ:3名(常勤有給:0名、その他:3名)

収入総額/0円

ふくしまNPO 経営者ゼミ報告

プロフィール

特定非営利活動法人 びいかあぶう

理事長

吉田 一也



略歴

- 1997年4月～ 社会福祉法人安積愛育園・管理者等
- 2015年5月～ 特定非営利活動法人びいかあぶう設立・理事長
- 2015年7月～ 放課後子どもクラブびこ開設・所長
- 2017年6月～ キッズクラブからこ開設・所長
- 2019年6月～ キッズスペースぶらーほ開設・所長

ゼミの結果報告

2019年経営者ゼミに参加させていただきました。2015年のNPO法人設立から4年が経った当初、「経営者」という響きにどこか慣れず、他人事のような感じていた自分がいましたが、自分自身を振り返る機会としてとても有意義なゼミ活動であったと感じています。

(ゼミ生)

今回のゼミでは、偶然にも子どもたちの支援に携わるメンバーが集まりました。それぞれが「何を学びたいか」ではなく、話していくうちに共感できたり、考えさせられたり、全て否定することではなく、プラスのことばかりで、このゼミでの「気づき」に重点をおいで参加していたように思います。それぞれが活躍されているフィールドを見学させていただくことで、一人ひとりの思いに触れ、地域課題に触れ、その人にしかできないことの大切さも学びました。

(中長期計画のこと)

最初のテーマが「中長期計画」を作成するという内容でした。「やっぱり来たか…」と感じ、今まで自分が遠ざけていたことを実感しました。何はともあれ、とりあえず、当年まで取り組んできたことを、落とし込んでいくと、自分が思い描いていたことが一つ一つ実現していることが分かりました。客観的に物事(自分)を捉える視点に気づいたのかもしれませんが、しかし、同時にその先の計画が漠然としていることにも気づきました。



5年先の計画をラフスケッチでしたが仕上げることで、これから先の指針になっています。

(資金集めのこと)

賛助会員やクラウドファンディングについて、大きな課題であると意見交換しました。実際に取り組んでのメリット、デメリットも聞くことができました。正直な所、私たちはこの部分を広げなくても事業は継続できると感じていました。しかし、資金以外にも支援者の輪を広げていく、活動を理解していただくことが、何よりも大切であるというお話を聞き、私自身の行動は変わりました。すぐに今までご支援頂いていた方々に、活動報告とご支援のお願いに足を運びました。ご支援頂ける賛助団体も増え、同時に大きな責任も感じています。思いだけではダメ。事業が継続できること、そして仲間や支援者がたくさんいること、これをゼミ生から学びました。そして、それぞれが連携し、お互いを知り、利点を活かすことで、新たなコラボが実現する予感がします。

(経営者としての判断力)

2019年度は台風19号による被害、そして新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちのNPO活動の継続をどう捉えていくか、決断に迫られ、東日本大震災を経験した私たちだからこそ、非常に頭を悩ませました。実際、年明けからのゼミ活動にも影響が出ました。思いがけない出来事でしたが、並行してゼミ活動をしていたことで、このような判断も経営者として求められるという、大きな気づきとなりました。

(最後に)

ゼミメンバーに出逢えたこと、今後も定期的に情報交換していきたいとお互いを感じられたことは私にとっての収穫でした。1年間ありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。



団体のプロフィール(2019年度)

団体名/特定非営利活動法人 びいかあぶう
 運営体制/役員:4名
 スタッフ:22名(常勤有給:22名,その他:0名)
 収入総額/63,532,211円
 収入内訳(100%)
 委託 0%
 会費 1.2%
 寄付 5.9%
 自主事業 92.6%
 その他 0.3%

